



イチゴの生育を管理する代表者の久田真弥氏

経営概要

久田 真弥

◆代表者・所在地

久田 真弥 滋賀県蒲生郡竜王町

◆経営規模

施設イチゴ 0.2ha、水稻 1.8ha、黒大豆 1.5ha

◆従業員数

パート・アルバイト 2名

◆事業内容

施設イチゴ（直売＋観光農園）を主体に、水稻、黒大豆の生産に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

久田氏は竜王町で、施設イチゴを主体に、水稻と黒大豆の栽培を行っている。経営の主力とするイチゴは、自園や近隣の直売所での販売に加え、土日祝日は観光イチゴ園を開園している。経営は、父親との家族経営で、令和2年4月に家族経営協定を締結し、それぞれの役割分担を明確化している。

令和6年1月に父親から事業承継を受ける際には、しがの農業経営・就農支援センターを活用し、資産と負債の引継ぎ方法などを専門家（税理士）からアドバイスを受けた。

さらに、**イチゴ部門について、売上を向上させるため、観光農園の来園者増加に取り組みたい**と考えるようになり、再度しがの農業経営・就農支援センターに相談した。

2 相談内容

観光イチゴ園の来園者確保については、外部集客サイトのほか、自らのホームページやLINE機能を活用している。しかし、LINEの機能を活かしきれず、友だち登録者数が伸び悩んでいた。

また、観光イチゴ園の集客の半数以上は外部集客業者経由となっており、手数料にかかる経費削減のため、将来的には、自らのホームページやLINE機能を活用して集客を図りたいと考えていた。しかし、LINEの有効な活用方法が分からない状態であったことから、**LINE機能の知識を深め、観光イチゴ園の集客のため、機能を有効に活用する手法を学びたい**。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

支援チームによる経営戦略会議において、今後の経営発展に向け、相談者が抱える観光イチゴ園の運営上の課題を整理した。

観光イチゴ園の集客は、自らが取り組むLINEによる集客が十分機能していないことが主要因であり、**LINE機能の知識を深め、集客につなげる必要がある**と判断した。

そこで、LINEマーケティングによる販路拡大に精通した**中小企業診断士（LINEコンサルタント）を派遣してLINE機能の有効的な活用について支援を行うことを決定**した。

■専門家派遣を通じた助言の実施

普及指導員が、相談者と観光イチゴ園の集客方法について情報収集、中小企業診断士にアドバイスを要請した。

LINEマーケティングに精通した中小企業診断士が、相談者の運用するLINEの簡易診断を行い、集客に効果的な運用権限の見直しや有料プランの切替方法の案内、誤ったメッセージ配信の停止など、新たなLINE機能の設定を提案した。

・LINEの運用改善支援 （中小企業診断士）

来園時にLINEの二次元コードで受付をしてもらうことで、受付完了の通知とともに友だち追加が促進され、違和感なく友だちを追加できる手法を助言した。友だち追加後、アンケートに答えてもらうことで割引券などを発行するなど、物販販売の増加に向けた取組も提案した。

・集客に向けたリピート率拡大支援 （中小企業診断士）

外部集客サイト等から申し込、来園された方が次回以降にLINE経由で申込できるよう、LINEリッチメニューの設置を支援した。

また、リピート顧客を増やすため、年代や性別、興味、関心事に合わせてLINEで有益な情報（誕生日クーポンやレシビなど）を流し、集客に結び付けることを提案した。

支援チーム構成員：中小企業診断士（LINEコンサルタント）、普及指導員（経営担当、野菜担当）、農業革新支援専門員



中小企業診断士によるLINE機能設定への支援

■ 支援を受けて・・・

数年前に公式 LINEを開設していたものの、LINEの基礎的なことしか分からないこともあり、持て余す状態が続いていた。今回の支援により、**公式LINEの管理方法を理解でき、登録者、タグ、メッセージなどの情報の整理、作成、発信が行いやすくなり、作業効率が数段上がった。**

また、LINEの活用方法についても理解が深まり、**業務改善のポイント、手数料の削減方法、売上増加に向けた具体的な取組がイメージできた。**

■ 今後の展開

LINEを使ったイベントやキャンペーンを行えるようになったため、今後は定期的に配信を行い、既に利用している他のSNSと連携した情報発信を考えている。引き続き登録者を増やすことで、観光農園の集客に活かしていきたい。



今回の支援により改良した公式LINEのメニュー画面

喜びの声

公式LINEが使いこなせれば便利だとは思っていたのですが、普段から使っているメッセージアプリのLINEとは違い、直感的に利用できないため億劫になっていました。今回ご支援をいただき、問題を一気に解決することができました。さらに、業務効率を上げることができ大変良かったです。

専属スタッフ所感

担当普及指導員の聞き取りにより、事業継承後に相談者が抱える経営上の課題を把握し、LINE機能に精通する専門家（中小企業診断士）の派遣に繋げることができました。専門家からの助言で、LINEによる友だち追加や新たな機能を自らが設定できるなど集客に向けた取組ができました。

公式LINEを使いこなすことで、目標とする来園者の増加など経営改善につながることを期待しています。

<支援実施機関>しがの農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営相談】

住 所：滋賀県大津市京町4-1-1
滋賀県庁 農政水産部
みらいの農業振興課 地域農業戦略室
電話番号：077-528-3845
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：30～12：00 13：00～16：00

【就農相談】

住 所：滋賀県大津市松本1-2-20
滋賀県農業教育情報センター
滋賀県農林漁業担い手育成基金
電話番号：077-523-5505
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：30～12：00 13：00～16：00



滋賀県庁外観

新規就農者等の確保・育成、担い手等が抱える経営課題に対応するため、令和4年度よりしがの農業経営・就農支援センターをみらいの農業振興課に設置しています。サテライト窓口として位置付けている地域の農業農村振興事務所農産普及課が主体となり、関係機関・団体と連携を図りながら、就農希望者に対する適切な情報提供および就農相談、多様な経営課題に対する経営相談・診断や専門家派遣等の支援を行っています。